

四旬節第6週(受難週) 主日礼拝

2022年4月10日 第一礼拝(午前8:30~) 第二礼拝(午前10:30~) 第三礼拝(午後2:00~)

前奏	(新聖歌121)		
招きのことば	『イザヤ書』53章1-6節	司会者	
開会の賛美	新聖歌46「わが主よ 今ここに」	一同	
信仰告白	『使徒信条』(スクリーン参照)	一同	
代表祈禱		司会者	
聖書朗読	『マルコの福音書』15章22-34節(新約p.103)	司会者	
黙想	(3分間の換気を行います)	一同	
説教	「 ^{しゅ} 主 ^み が見捨てられたからこそ」	近伸之牧師	
感謝の献金	新聖歌102「主は命を」	一同	
諸報告		司会者	
※頌栄の賛美	新聖歌62「天つみ民も」	一同	
※祝福の祈り		近伸之牧師	
※後奏	(新聖歌59-4)		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立をお願いします)
(演奏機の曲は、楽譜と違う表現で流れる事があります)

第一礼拝	司会：片山 勝三兄 集会：小山 千春姉	音響：近 ゆかり姉	献金カゴ：沼田佐代子姉
第二礼拝	司会：近 伸之牧師 集会：山岸あけみ姉	音響：小林 洋子姉	献金カゴ：倉島 幹夫兄
教会学校	4/3[初子姉] 4/10[麻美姉] 4/17[近牧師] 4/24[佐藤兄]		
第三礼拝	司会：近 伸之牧師 記録：牧師家他	音響：有志	献金奉仕：片山 健司兄

今週の暗唱聖句

キリストは、ご自分が私たちのためにのろわれた者となることで、私たちが律法ののろいから贖い出してくださいました。「木にかけられた者はみな、のろわれている」と書いてあるからです。

(『ガラテヤ人への手紙』3章13節)

一年間で聖書通読

7 / 52	4/11	(月)	モーセの律法	『創世記』24~27章
	4/12	(火)	歴史書	『士師記』7~11章
	4/13	(水)	詩篇	『詩篇』18~20篇
	4/14	(木)	知恵文学	『ヨブ記』13~14章
	4/15	(金)	預言書	『イザヤ書』34~39章
	4/16	(土)	福音書	『マタイの福音書』17~19章
	4/17	(日)	手紙	『ローマ人への手紙』13~14章

個人、団体からの来信 [3/29(火)~4/4(月)]

2022年4月10日

「2022年度 新潟聖書学院聴講生募集のご案内」

※聖ヶ丘より「みんなキャンプ」のしおりが届き、4月1日(金)、2日(土)にオンライン参加をしました。

諸集会の報告

4/3(日)	教会学校	幼児男子 幼児女子	小学男子 小学女子	中学男子 中学女子	高校男子 高校女子	男児計1 女児計3	成人男性 成人女性
第一礼拝	男3 女4	4/6(水)		水曜祈禱会		男2 女6	
第二礼拝	男4 女9(お祝い)	※3月の平均					
第三礼拝	男4 女7 男児1 女児2	4/8(金)		しゃべり場タピタ		男- 女3	
男性合計9 女性合計18(お祝い)				※4月より、木曜午前に祈禱会を実施			
※月に一回、書道教室を開催				※月に一回、読書会を開催			
				※月に一回、こころテラスを開催			

諸集会のご案内

書道教室	4/11(月)午前9:30	聖書：『詩篇』118篇20, 22, 23, 24, 27, 29節
新潟山形僚禱会	4/13(水)午後7:30	かやま会堂
	4/14(木)午前10:00	ときわ会堂
	※月に一回、読書会を開催	
しゃべり場タピタ	4/15(金)午後1:30	小山 千春姉宅
こころテラス	4/16(土)午後1:00	かやま会堂
	問い合わせ先：猪爪 和美姉	
	3~4月担当：小山 千春姉	
	4月担当窓口：渡邊 智子姉	

4/17(日)復活節第1週(イースター)

第一礼拝	司会：近 伸之牧師	音響：(調整中)	献金カゴ：有志
午前8:00~	集会：沼田佐代子姉		
教会学校	午前9:30~		
ときわ第二礼拝	(司会・説教：スクリーンにて鑑賞)	機器：有志	献金奉仕：猪爪 和美姉
午前10:30~			
かやま第二礼拝	司会：近 伸之牧師	音響：近 ゆかり姉	献金カゴ：(調整中)
午前10:30~	集会：山岸あけみ姉		
主日の予定	新聖歌：8, 123, 63 召天者記念墓前礼拝 午後2:00~ 太夫浜霊園		

報告

1. 礼拝の感謝

主日礼拝の恵みを感謝します。いただいたみことばを心に刻みつけて新たな一週間を歩みましょう。

2. 新しい礼拝体勢について

常盤町に与えられた新会堂「ときわ会堂」において定期集会を開始します。それに伴い、次週4月17日(復活節)より第一礼拝は午前8:00から現会堂「かやま会堂」にて、これまで午後に行っていた教会学校と礼拝を午前中にときわ会堂で行います。(今後各部、委員会からの連絡を礼拝で案内することを希望される方は前週もしくは前日までに牧師家へお知らせいただけるように、よろしくお祈りします)

3.

『使徒信条』(新聖歌p.826)

われ てん ち つく めし ぜん の う ちち かみ しん われ はと こ われ しゆ
我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イ
エス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生まれ、ポンテ
オ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にく
だり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座
したまえり。かしこより来たりて、生ける者と死にたる者とを審きたまわん。我は
聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪の赦し、身体のよみがえ
り、永遠の命を信ず。アーメン

『マルコの福音書』15章22~34節(新約聖書p.103)

22 彼らはイエスを、ゴルゴタという所(訳すと、どくろの場所)に連れて行っ
た。23 彼らは、没薬を混ぜたぶどう酒を与えようとしたが、イエスはお受けにな
らなかった。24 それから、彼らはイエスを十字架につけた。そして、くじを引い
て、だれが何を取るかを決め、イエスの衣を分けた。25 彼らがイエスを十字架
につけたのは、午前九時であった。26 イエスの罪状書きには、「ユダヤ人の王」
と書いてあった。27 彼らは、イエスと一緒に二人の強盗を、一人は右に、一人
は左に、十字架につけた。28【本節欠如】

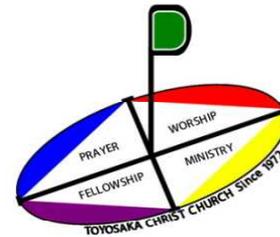
29 通りすがりの人たちは、頭を振りながらイエスをののしって言った。「お
い、神殿を壊して三日で建てる人よ。30 十字架から降りて来て、自分を救って
みる。」31 同じように、祭司長たちも律法学者たちと一緒に、代わる代わ
るイエスを嘲って言った。「他人は救ったが、自分は救えない。32 キリスト、イス
ラエルの王に、今、十字架から降りてもらおう。それを見たら信じよう。」また、
一緒に十字架につけられていた者たちもイエスをののしった。

33 さて、十二時になったとき、闇が全地をおおい、午後三時まで続いた。
34 そして三時に、イエスは大声で叫ばれた。「エロイ、エロイ、レマ、サバクタ
ニ。」訳すと「わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか」と
いう意味である。

Vol. 53/No. 13
(通巻2570号)

週 Weekly Bulletin 報

2022年4月10日



日本同盟基督教団 新潟山形宣教区
豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)
かやま会堂 950-3322 新潟市北区嘉山3-11-15
TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155
ときわ会堂 950-3321 新潟市北区葛塚3228-3
電子メール info@toyosakakyokai.net
ライブ中継 http://www.toyosakakyokai.sblo.jp

教会目標 **ただ一つのことに向かって走る**

「ただ一つのこと、すなわち、うしろのものを忘れ、前のものに向かって身を伸ばし、キリスト・イエスにあって神が上に召してくださるといふ、その賞をいただくために、目標を目指して走っているのです」(『ピリピ人への手紙』3章13、14節)



ライフライン

毎週土曜日 朝5:15~5:45 BSNテレビにて放送中

★24時間テレホンサービス『でんわ世の光』025(272)3592



4/16(土)ライフライン イースターのつどい
「復活の事実がもたらすもの」関根弘興牧師、Migiwaさん
イエス・キリストの復活を記念してお祝いし、無観客「ライフライン イースターのつどい」の様子を紹介します。今回の「つどい」では、Migiwaさんがオリジナルのゴスペルソングを歌い、関根弘興牧師が「復活の事実がもたらすもの」というタイトルで聖書のメッセージを語りました。

HE DIED FOR OUR SINS